

2023年12月22日

エリアを起点とした、外部パートナーとの事業共創プログラム

KEIO AREA OPEN INNOVATION PROGRAM「ROOT（ルート）」の 採択企業を決定しました！！

～5社の提案を採択、沿線価値の向上を実現します～

京王電鉄株式会社（本社：東京都多摩市、代表取締役社長：都村 智史、以下、「京王電鉄」）では、株式会社ヒトカラメディア（本社：東京都世田谷区、代表取締役：高井 淳一郎、以下、「ヒトカラメディア」）と共同で実施している外部パートナーとの共創により地域の課題解決や価値創出を目指す、エリアを起点とした事業共創プログラム KEIO AREA OPEN INNOVATION PROGRAM「ROOT（ルート）」（以下、「本プログラム」）の採択企業を決定しました。

本プログラムの第一弾は多様な文化が交わり、絶えず自由に変わり続ける下北沢を舞台に、「遊ぶ」「働く」「学ぶ」「暮らす」「環境」「健康」の6つのテーマを設定し、10月から外部企業による提案を募集しました。（※1）

ご応募いただいた70社の提案について、当社事業とのシナジーや地域との親和性、持続可能性等の観点で書類審査・面談審査を行い、5社の提案を採択しました。

今後は事業化を目指した実証実験を順次開始し、採択企業との事業共創に取り組みます。地元商店街や町会をはじめとした地域の事業者・団体とも連携し、事業共創を通じたオープンイノベーションにより地域の価値を向上させることで、沿線価値の向上を実現してまいります。



stadiums 株式会社



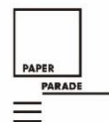
株式会社はこぶん

FASHION X

株式会社 FASHION X



free 株式会社



株式会社ペーパーパレード

《採択企業一覧》

（※1）2023年10月2日付発表プレスリリース参照

https://www.keio.co.jp/news/update/news_release/news_release2023/nr20231002_kaoi.pdf

(別紙) KEIO OPEN INNOVATION PROGRAM 「ROOT (ルート)」の採択企業および提案内容

| | |
|-------|--|
| 社名 | stadiums 株式会社 |
| 代表者名 | 大石裕明 |
| 事業概要 | 運動習慣をサポートするブランド THE PERSON を運営 |
| 会社 HP | https://www.stadiums.co.jp/ |
| 提案概要 | “習慣化する運動をデザインする” - THE PERSON が、メディカルトレーナーによる健康チェックとトレーニングを提供し、“継続できる”個人向け・企業向けの健康プログラムを実施します。受講者が下北沢の街を楽しく健康的に過ごすことのできる様々な体験を本プログラムによってコラボレーションし、下北沢の街全体で「WELLNESS CITY」を創造していきます。 |
| 社名 | 株式会社はこぶん |
| 代表者名 | 森木田剛 |
| 事業概要 | VOC 収集の設計・感情分析からアフターフォローまで一気通貫で支援する、デジタルレターの顧客コミュニケーションサービス「ホンネ POST」の提供 |
| 会社 HP | https://lp.honnepost.com/ |
| 提案概要 | “ホンネ POST でまちと気軽に繋がり、魅力・課題が見える化” 下北沢に関わる人（事業者/住人/通勤・通学）がまちに対する“生の声”を気軽に伝えられる仕組みを構築し、魅力やリアルな課題を可視化。双方向コミュニケーションができる接点を通じて継続したニーズの吸い上げ・熱量の高いまちのプレイヤーを巻き込み、地域価値創造に繋げるためのコミュニケーションの土台を構築します。 |
| 社名 | 株式会社 FASHION X |
| 代表者名 | 畠山怜之 |
| 事業概要 | 地域で古着回収を行い、アップサイクル家具制作、リユースリサイクル活用等を行う事業を展開 |
| 会社 HP | https://fashionx.jp/ |
| 提案概要 | 古着の街として有名な下北沢にて、駅中心を中心とした衣類循環モデルの実証を行います。沿線や駅施設で古着回収、集まった古着にクリエイターと連携し新たな価値を付与（リメイク作品、アップサイクル家具制作、リユースリサイクル活用等）することで、地球環境の負荷低減、駅利用の新たな価値創出、若者の成長機会の創出に寄与します。 |
| 社名 | freee 株式会社 |
| 代表者名 | 佐々木大輔 |
| 事業概要 | 統合型クラウド ERP の開発・販売 |
| 会社 HP | https://corp.freee.co.jp/ |
| 提案概要 | 「スモールビジネスを、世界の主役に。」をミッションに掲げ、「だれもが自由に経営できる統合型経営プラットフォーム。」の実現を目指して統合型クラウド ERP の開発及び提供をしている会社です。本プロジェクトでは「下北沢」というユニークな街を舞台に、スモールビジネスの皆様の日々のバックオフィス業務をはじめに創業や資金繰りのサポートをしていきます。 |
| 社名 | 株式会社ペーパーパレード |
| 代表者名 | 守田篤史 |
| 事業概要 | 印刷や紙加工を中心としたブランディングやサステナブルな商品の企画・開発 |
| 会社 HP | https://paperparade.tokyo/ |
| 提案概要 | 株式会社ペーパーパレードが運営する openmaterial (オープンマテリアル) は、社会を一度経由した素材の発見、回収、再利用することで、捨てないを創造する循環型クリエイティブチームです。私たちは、まだ使える可能性を残しながらも廃棄されゆくものに、デザインや加工技術を組み合わせることで新たな価値を持った素材へと転換していきます。廃棄されゆくものに次のライフステージを提案し、素材の新たな可能性を提案していきます。 |

1. KEIO AREA OPEN INNOVATION PROGRAM「RROOT（ルート）」について

(1) コンセプト

地域価値を沿線価値へ

(2) 概要

京王電鉄の資産や関連する人・企業・場所などを活かしながら、地元商店街や町会をはじめとした地域の事業者・団体とも連携して、スタートアップ企業等の外部パートナーとともに新たな事業やサービスを創出し、地域の価値を向上させることで沿線の価値向上につなげる、エリアを起点としたオープンイノベーションプログラムです。

(3) プログラム名称「RROOT（ルート）」の由来

これまで地域ごとに耕してきたコミュニティの土壌・根（ROOT）をもとに、京王線沿線全体（ROUTE）に広げていきたいという想いを込めて名づけました。

「RROOT（ルート）」の3つの0は、『地域』『ユニークなプレイヤー』『京王電鉄』を表しています。



2. 第一弾の下北沢を舞台に実施する内容について

(1) 下北沢を選んだ背景

京王電鉄では絶えず自由に変わり続ける下北沢において、2022年3月に下北沢駅高架下の複合施設「ミカン下北」を開業し、ワークプレイス「SYCL by KEIO」の施設プロデューサーおよび運営を担うヒトカラメディアとともに、妄想を基に実験的な取り組みを行うきっかけの場となる「下北妄想会議」やアイデアを具現化していく「studioYET」を推進してまいりました。こうした土壌を活かしながら本プログラムを通して新たな価値を提供したいとの思いから、第一弾の場所として下北沢を選びました。

(2) 募集テーマ

以下のテーマを設定し、10月からスタートアップ企業をはじめとした外部パートナーからの提案を募集しました。

| テーマ | 募集アイデア例 |
|-------------|--|
| ① 下北沢と「遊ぶ」 | #二次交通 #回遊性 #観光 #インバウンド #若者 #妄想 #アート #アウトドア #魅力発信 #情報編集 |
| ② 下北沢と「働く」 | #企業共創 #スモールビジネス #事業承継 #後継者不足 #コミュニティ #実験 |
| ③ 下北沢と「学ぶ」 | #大人の部活動 #学び直し #アート #デザイン #子育て #多世代 #コミュニティ |
| ④ 下北沢と「暮らす」 | #朝活 #安心安全 #防災 #シェアリングエコノミー #サブスクリプション #多世代 #子育て |
| ⑤ 下北沢と「環境」 | #ゴミ問題 #エネルギー #脱炭素 #サステナブル #資源の循環 #地産地消 |
| ⑥ 下北沢と「健康」 | #朝活 #心の健康 #スポーツ #健康寿命 #休憩 #昼寝 #アクティブシニア #アウトドア |

(3) スケジュール

| | |
|-------------|------|
| 実証実験開始 | 1月中旬 |
| 中間発表会 | 3月下旬 |
| デモデイ（成果発表会） | 6月中旬 |

(4) 公式サイト

プログラムの詳細やスケジュールをご覧ください。

公式サイト URL : <https://keio-innovation-shimokita.com/>

【関連 SNS】

Facebook: <https://www.facebook.com/profile.php?id=61551994312408&mibextid=LQQJ4d>

X (Twitter) : https://twitter.com/keio_program

3. お問い合わせ先

Mail: open-innovation@keio.co.jp

以 上

【参考1】京王電鉄株式会社について

- (1) 会社名 京王電鉄株式会社
- (2) 代表者 都村 智史
- (3) 所在地 東京都 多摩市 関戸1丁目9番地1
- (4) URL <https://www.keio.co.jp/>
- (5) 設立 1948年6月1日
- (6) 事業内容 鉄道事業 土地、建物の賃貸業・販売業など

【参考2】株式会社ヒトカラメディアについて

- (1) 会社名 株式会社ヒトカラメディア
- (2) 代表者 高井 淳一郎
- (3) 所在地 東京都 世田谷区 北沢2-5-2 下北沢ビッグベンビルB1F
- (4) URL <http://hitokara.co.jp>
- (5) 設立 2013年5月
- (6) 事業内容 オフィス移転サポート、空間プランニング、ビルオーナー支援、レンタルオフィス・レンタルスペース運営、まちづくり事業

【参考3】「KEIO OPEN INNOVATION PROGRAM」について

京王電鉄では2022年から、スタートアップ企業をはじめとした外部パートナーとの共創によるオープンイノベーションプログラムを実施しています。初年度となる昨年は、鉄道事業を起点として「鉄道事業の変革への挑戦」をテーマに掲げ募集を行い、合計71件の応募の中から7件の提案を採択し、実証実験を実施しました。

KEIO OPEN INNOVATION 専用サイト :

<https://www.keio.co.jp/company/environment/keio-open-innovation/index.html>